

2022年6月4日・5日に実施された国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師資格認定試験の合否結果が中国薬膳研究会(北京)より正式決定されました。8月半ばに資格証書が学院まで届き、過去最多となる132名が国際薬膳師(士)として認められました。

合格者の皆さま、改めておめでとうございます!薬膳の専門家としてのご活躍を祈念いたします。

2022年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師資格認定試験 合格者一覧

国際薬膳師・国際薬膳調理師(43名)

50音順、敬称略

【北海道】	菊地恵里	【埼玉県】	堺 君映	佐藤和子	白数静宜	鈴木聖代	林 文佳	
【千葉県】	大久保有子	垣尾重美	松本美和	【東京都】	秋山朋絵	池田由美	井桁良樹	押杵ゆかり
川上真里	齋藤幸子	佐川麻里	佐藤あゆ美	古川ゆか	松下かおり	柳 令子	【神奈川県】	木村奈奈
佐藤加奈子	【山梨県】	中嶋晴子	【静岡県】	河村好恵	【愛知県】	榎本千江美	馬場園桂子	緑谷由佳
【三重県】	山田江里子	【京都府】	井貝美穂	高田暁美	千阪千恵子	【大阪府】	上江瞳弥	川口恵子
岸野愛里	久保裕子	黒田美紀代	橋本沙絵	吉田真希美	【岡山県】	實近知美	【山口県】	藤川聡子
【福岡県】	黒澤百合恵	松浦雅士	【大分県】	小出繁美				

国際薬膳師(84名)

【北海道】	江島佳織	菅原史衣	壽崎麻夕	【宮城県】	佐藤真奈美	【茨城県】	田島千賀子	和地みのり
【群馬県】	大関沙代子	【埼玉県】	石井優子	金谷利江	金山友紀子	西山治子	【東京都】	青木夕子
安藤梨鈴	大川聡美	岡野愛子	有田千幸	北岸好子	熊谷有希子	黒木悠衣	佐藤弘子	椎名麻美子
清水利美	高松京子	田村美穂	坪井輝江	鄭 知美	登坂加奈子	中村真由子	林 裕子	松田京子
光永史子	南谷容子	宮下貴弘	森 悦子	森山大輔	柳澤里美	山口弘子	山田純子	横江啓似子
蓬田里香	【神奈川県】	石井洋子	今津祐子	大木幸子	亀山菜々子	木次温子	田野辺映子	川中あかね
中沢知子	吹野洋子	村口優子	森岡浩美	山本 晋	芳村久美	【新潟県】	田中智子	
【福井県】	小宅香織	【山梨県】	細萱幸子	【長野県】	水谷江希	【岐阜県】	大岩真子	中村史依
【静岡県】	遠藤晃代	扇谷美千子	【愛知県】	後藤志保美	永田悦子	【三重県】	山下由華	
【大阪府】	内村 静	西垣内 雅	野田ゆう子	八代典子	【兵庫県】	小田純也	Leung YuenMan	
【奈良県】	山名香奈美	【福岡県】	飯田優子	岩村理恵	植田詩子	高岩美枝子	中野真由美	
【長崎県】	下平和子	林田裕子	【熊本県】	工藤寛代	東家加代子	中川真由美	【大分県】	藤島夫佐子
【鹿児島県】	高柳佳織子	牧 菜穂						

国際薬膳士(5名)

【東京都】	佐藤良子	【埼玉県】	酒井敦子	【京都府】	井上美佳	【大阪府】	小松幸子
【鹿児島県】	豊平幸美						

最後にありがとうございました。ご指導いただきました学院の皆様、心より感謝いたします。

「薬膳の道を一緒に歩みましょう」 講座の初日に、辰巳洋学院長にいただいたサインに添えられた言葉。私達の薬膳の旅が始まりました。

受講当初、夕飯の献立は、スーパーで『食薬方剤学』のテキストとにらめっこしていたのが、受験間近になると頭の中で検索できる程に成長しました。それには理由があります。中医薬膳師コース修了後、仲間と試験対策で定期的勉強会「合格への扉」を開催したからです。特に、弁証施膳対策で「季節」「体質」「証」に合わせたレシピをみんなで考えたことで、分類だけでなく作用効能もマスターすることができました。「夏の薬膳には清熱解毒消暑の緑豆がいいね」。レシピを考案するだけでなく、毎回、薬膳茶と薬膳おにぎりを持ってきてくれる仲間がいました。お陰で、日常的に薬膳を取り入れる感覚を身に着けることができました。

自作資料や受験直前資料を提供してくれた仲間、勉強しやすいように携帯活用法を伝授してくれた仲間など。薬膳を共に学ぶ仲間できたことが私の宝となりました。これから私たちの薬膳の旅が本格的に始まります。

国際薬膳師合格者
代表の言葉



大阪教室第7期土日コース卒業生 黒田美紀代

2022年夏期スクーリング開催

6月24日(土)26日に行われた夏期スクーリングに計30名の学生が参加され、理論講義の受講と調理実習で薬膳学の理解を深めました。

開催時期は新型コロナウイルスの感染状況も緊迫した段階を脱していたこともあり、関東、関西、北海道から沖縄まで様々な地域から参加者が集まりました。スクーリングは講師の講義を受けられ、直に質問ができ、実践力を高めるという目的以外に、共に学ぶ仲間作りの機会ともなっています。受講生同士の交流はモチベーションの向上にも繋がっています。

参加者からは「先生方の実体験や教科書には書かれていない奥深い知識をもっと聞きたいと思った」などの声が寄せられ、学習意欲の高さを感じました。

今回の受講で全課程を修了し、卒業を迎えた方が6名いらっしゃり、資格認定試験や各々の目標に向かって、引き続き勉強に励んでいただきたいと思います。



のろのろ受講生、スクーリングを受けるの巻

中医薬膳師オンラインコース 石渡 真由美

スクーリングの案内をいただいたとき、「よっしゃー！やるぞー」と思って申し込むも、学院から即座に連絡。食薬学まで修了している方が対象となるとのこと…。はい、私はまさに食薬学に足を踏み入れて、長らく停滞しておりました。せっかくのスクーリングの機会。これを逃すと次は10月。それはあってはならぬと感じ、猛チャージの勉強をして滑り込みで受講いたしました。

3日間の集中講義でしたが、時間はあっという間。アットホームな雰囲気、先生方やスタッフの方の温かさ、受講生の方のよい雰囲気。学生のような生活も久々に満喫でき、やはり対面での勉強や人とのふれあいの大切さを痛感しました。

受講生の進度はさまざま。私は最も遅い部類でしたが、スクーリングを終了時に卒業する方も多くいらっしゃいました。しかし、このタイミングは私にはベストでした。何が分からないかも分からなかったけれど、霧が晴れていくような感じでした。「さあ、この学びを活かして、経営している『よもぎ蒸しサロン Hare-Bare』で活かしていくぞ！」と改めて決意した3日間でした。

先生方、スタッフの皆様、お仲間の方々ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。



すべての出会いに感謝

中医薬膳師オンラインコース 野口 啓史

今回スクーリングに参加させていただき、まず一番強く感じたことは、「一度学習しているはずの内容が思っていた以上に頭に浸透していない」という絶望感でした。質問の回答が即座にパツと頭に浮かびませんでした。1つ1つ、確実に覚えながら(暗記しながら)やっていたかかないとダメだと痛感させられました。

先生方の講義はとても丁寧で分かりやすく、「なるほど！」の連続でした。勉強のコツやポイント、覚え方等、細部にわたりご教授くださりました。また、実習で今まで自分に馴染みのない食薬(中薬)を実際に使用することができたのは貴重な経験となりました。特に山植菊明茶を煎じた際の時間経過と共に変化する色彩および香りはとても印象深かったです。

今回全国各地から集結した受講生たちは(北は北海道、南は沖縄)、すでに様々な分野でご活躍されている方々でした。皆さんの食欲に学ぶ姿勢には、「私自身もつと努力してレベルアップしたい！」という気持ちに奮い立たせてくださりました。

私は薬膳でたくさんの方々の「笑顔」に、そして「幸せ」にできると確信しております。確たる強い意志をもって日々精進していきたいと改めて決意させてくれる3日間となりました。全体的の方々へ【真心感謝】。



中医学は優しさと共に

国際中医師研究科 河畑 摩希

2021年4月から一年間、国際中医師資格試験の対策講座を受講するために、月に一度大阪から東京へ。緊急事態宣言を請け、途中何度かはオンラインでの講義になってしまいましたが、中医師であり日々患者さんと向き合っている先生のお話を直に聞くことができる貴重な体験でした。

コロナ禍で、試験がいつ開催されるのか、それどころか開催されるのかどうかさえわからない不安の中、勉強したかったことが勉強できる単純な喜びと、勉強すればするほどわからない事が増えてゆく困惑と、試験へのプレッシャーとストレスで感情が目まぐるしく変化する一年でした。そして改めて「健康」の価値を見直す一年でもありました。

数千年も昔から健康に生きることを追求してきた中医学。きっと始まりは家族や身近な人の健康を願ってのことだったに違いないと思います。今現在も家族や身近な人の健康を願わずにはいられないように、誰かを想う優しさが、これからも中医学の原動力であり続けるのだらうと思います。

試験を受けるにあたって、于先生をはじめ、本草薬膳学院の先生方、事務の方々に大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

祝

2022年度開催の国際中医師資格試験（国際中医薬専門技術標準認定試験）の合格が世界中中医薬学会連合会より届きました。河畑摩希さんに合格者代表の言葉をいただきましたのでご紹介いたします。

およそ3年間をかけて学んで得た知識と受験勉強に費やしてきた時間はかけがえのない宝となったことでしょう。

心よりお祝い申し上げます。皆さまのご活動に期待しています。

国際中医師資格認定試験 合格者

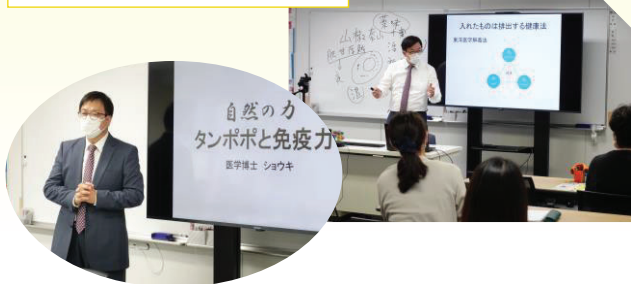
東京都	安嶋 愛	山口由美子
埼玉県	亀谷瑠美	
栃木県	小平佳子	
大阪府	河畑摩希	佐藤順子
	谷間千秋	徳力早苗
兵庫県	長井純子	

50音順、敬称略

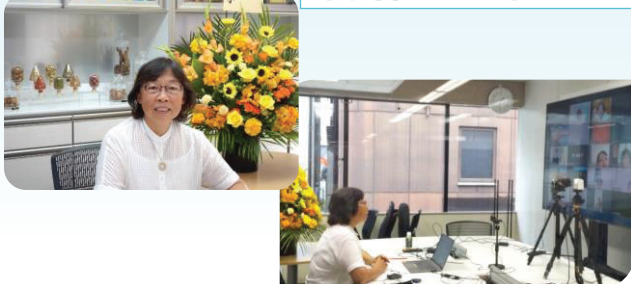
ヨモギとお灸の養生塾



タンポポと免疫力



本草薬膳学院 20年のあゆみ



今年で創立20周年を迎え、記念大会の開催や記念誌の発行、記念書籍・商品の販売など、様々な企画と併せ、どなたでもご参加いただける公開講座「20周年記念講演」を開催しております。5月25日に行われた「ヨモギとお灸の養生塾（岡尾知子先生）」を皮切りに、6月8日「タンポポと免疫力（邵輝先生）」、8月21日「本草薬膳学院20年のあゆみ（辰巳洋先生）」が開催されました。

「ヨモギとお灸の養生塾」は学院初の参加体験をするワークショップ込みの講座で、ヨモギ団子とヨモギ茶を作る調理実習ともぐさを使ったお灸体験に大賑わい。お土産セットも喜ばれました。邵輝先生に学院でご講演いただくのは2回目になりますが、前回同様、西洋医学と東洋医学の両面から解説しながら裏付けとなる分析データを提示した講義内容がわかりやすいと好評でした。親しみあるお人柄も人気の理由でしょう。記念大会を1か月後に控え開催された「本草薬膳学院20年のあゆみ」は学院長である辰巳先生から感謝の気持ちを込めて、学院創立時から今日に至るまでを振り返りました。多くの方にご参加いただけるようオンライン開催に限定し、参加費無料で行われた当講座には、400名以上のお申込みがありました。

記念講演は9月、10月、それ以降にも様々な講座の開催を予定しております。在校生・卒業生はもちろん、薬膳に興味のある方や実践されている方、関わりのある分野に携わっている方もご参加ください。詳細は学院ウェブサイトまで。

本草薬膳学院 20周年記念講演



2022年度秋期開講 中医薬膳師通学コース 学生募集

東京本校 土日コース〔第3土・日曜日〕1年間/毎月2回

10月15日開講予定

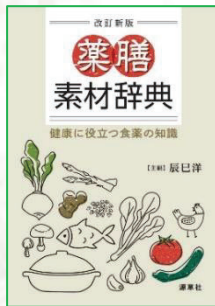
ご紹介いただいた方が通学コースに入学されました場合、些少ながら謝礼を申し上げます。

ご自身やご家族の健康のため、食から健康を維持したい時代となった今こそ薬膳を学びたい方
資格をお仕事等に活かし、自分が薬膳普及の担い手になっていきたい方

ご入学をお待ちしております！

新刊紹介

本草薬膳学院創立20周年を記念した書籍が出版されます！



◆中医学教科書シリーズ⑥『中医内科学』(辰巳洋主編、源草社、B5判416頁)5,000円(税別)

当学院研究科コース オリジナル教科書である『中医内科学 一・二・三巻』を1冊に集約した改訂版。旧版を図表化し、よりわかりやすくなりました！

◆『改訂新版 薬膳素材辞典～健康に役立つ食薬の知識』(辰巳洋主編、源草社、A5判444頁)4,000円(税別)

初版出版から15年、日々の健康管理にも役立つロングセラー本がリニューアル！最新の教科書『中薬学』(中国中薬出版社)に基づいて内容を見直し、再編集しました。より見やすく応用しやすくなりました。

◆『医在厨房～医薬は台所にあり』(辰巳洋著、東洋学術出版社、四六判240頁)1,800円(税別)

数千年に及ぶ食薬と中国医学の歴史、神話や伝説に基づく面白いエピソード、薬膳の基本となる知識などを満載。楽しく読めて勉強になる一冊。

◆『薬膳と共に生きる～本草薬膳学院創立20周年記念誌』(本草薬膳学院、A4判184頁)3,500円(税込)

本草薬膳学院20年の歴史、日中両国の中医学・薬膳学の専門家や当学院講師と学生による論文・エッセイ。500冊の限定出版ですので、この機会を逃さずご購入ください。※本草薬膳学院創立20周年記念大会の参加者にはお土産として1冊差し上げます。

20周年記念書籍は9月23日の記念大会より販売を開始いたします。大会後は学院窓口とオンラインストアからご購入いただけます。

【掲載記事の募集】

薬膳のお店 OPEN のお知らせ、薬膳料理教室の開催、執筆した薬膳の本の発行...etc. 薬膳に関する活動支援の一環として、「本草つうしん」上で広告を掲載いたします！また、HP・Blogを持っている方で、本草薬膳学院サイトへのリンクを希望される方も学院までご連絡ください。

※広告は本学院在校生及び卒業生のみ応募可能、内容は薬膳関連のみに限らせていただきます。HP・Blogの内容によってはリンク出来ない場合がありますので予めご了承ください。

本草つうしんは学院サイトの「新着情報」からもご覧いただけます。

本草薬膳学院 HP
<https://www.honzou.jp/>